



2024年3月期
決算補足説明資料

2024年5月10日
株式会社 J-MAX

<2024年3月期>

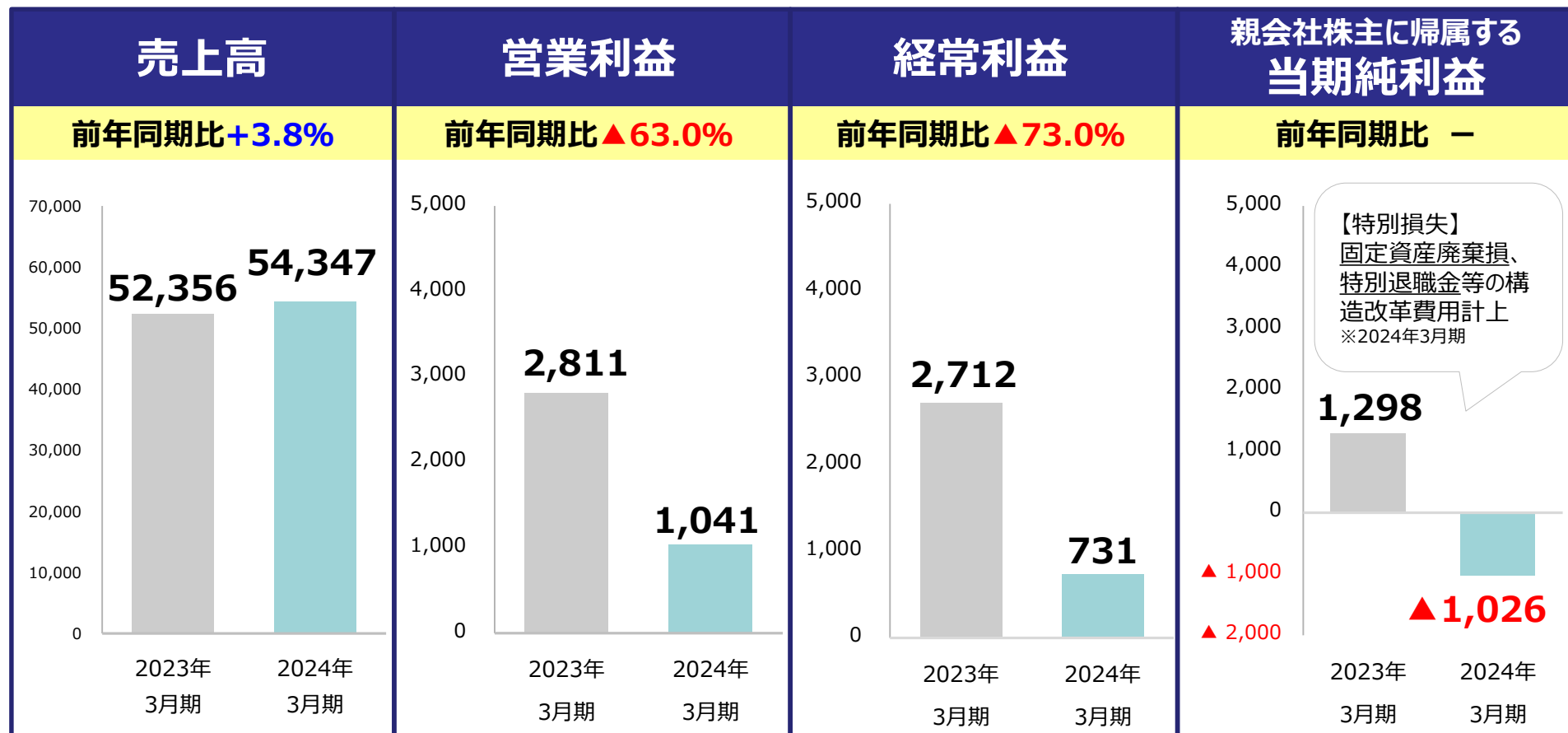
1. 連結損益状況
2. 増減要因
3. セグメント業績
4. 連結キャッシュフローの状況
5. 設備投資額、減価償却費
6. 財務状況

<2025年3月期>

7. 通期連結業績予想
8. 増減要因(業績予想)

(百万円)

1. 連結損益状況



為替レート	2023年3月期 (円)	2024年3月期 (円)	増減 (円)	増減率 (%)
タイバーツ	3.72	4.04	+0.32	+8.6%
人民元	19.38	19.80	+0.42	+2.2%

2. 増減要因

(百万円)

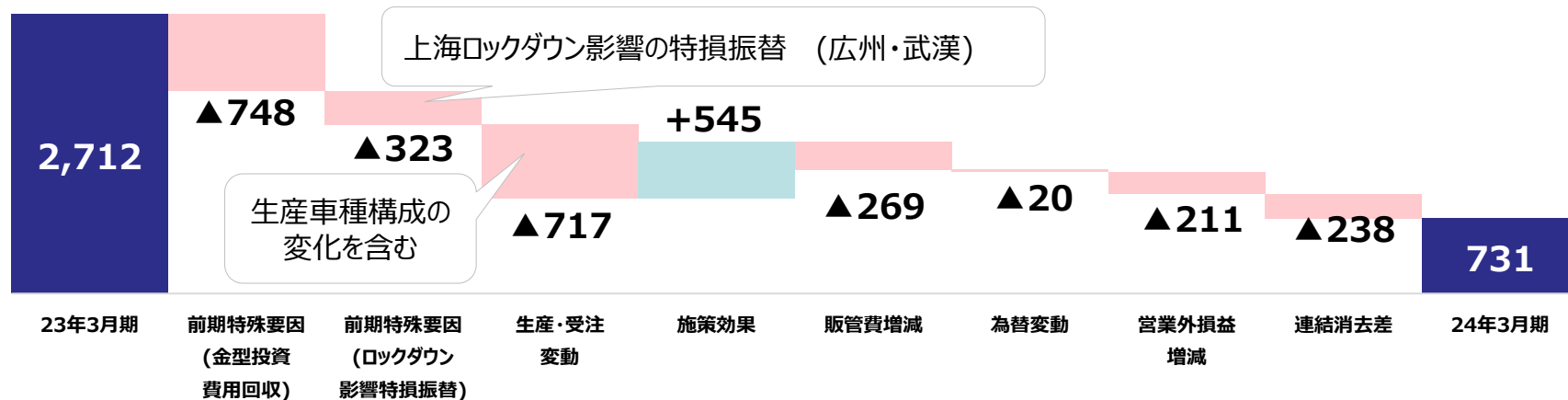
◆ 売上推移

売上高前期比 +1,990



◆ 利益推移 (経常利益)

営業利益前期比 ▲1,770 経常利益前期比 ▲1,981



売上高

中国拠点の減産があったものの、原材料価格高騰分の価格転嫁及び為替影響等により増収

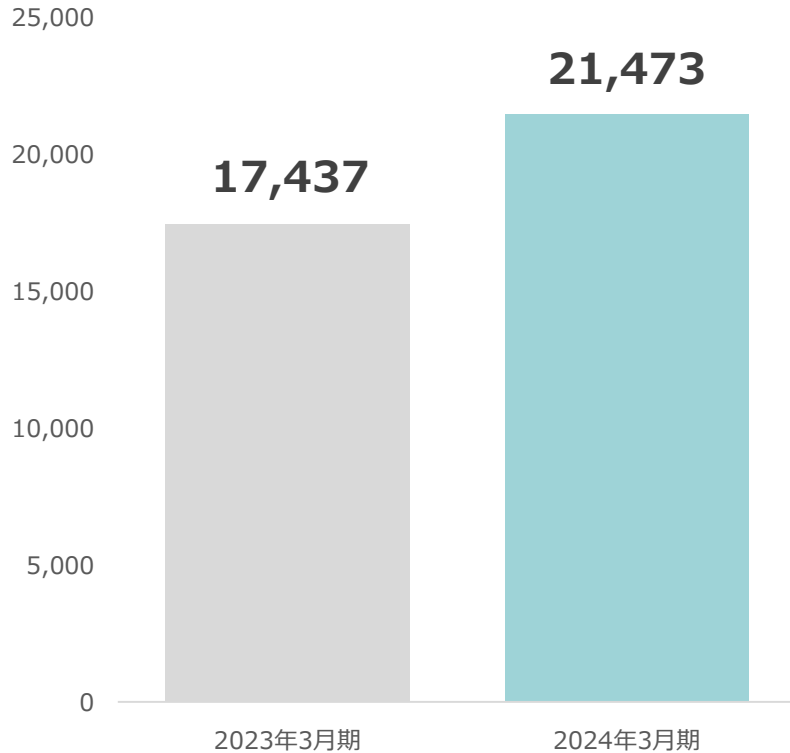
経常利益

構造改革等の原価低減活動を推進したものの、前期特殊要因、海外拠点の生産減少、生産車種構成の変化等により減益

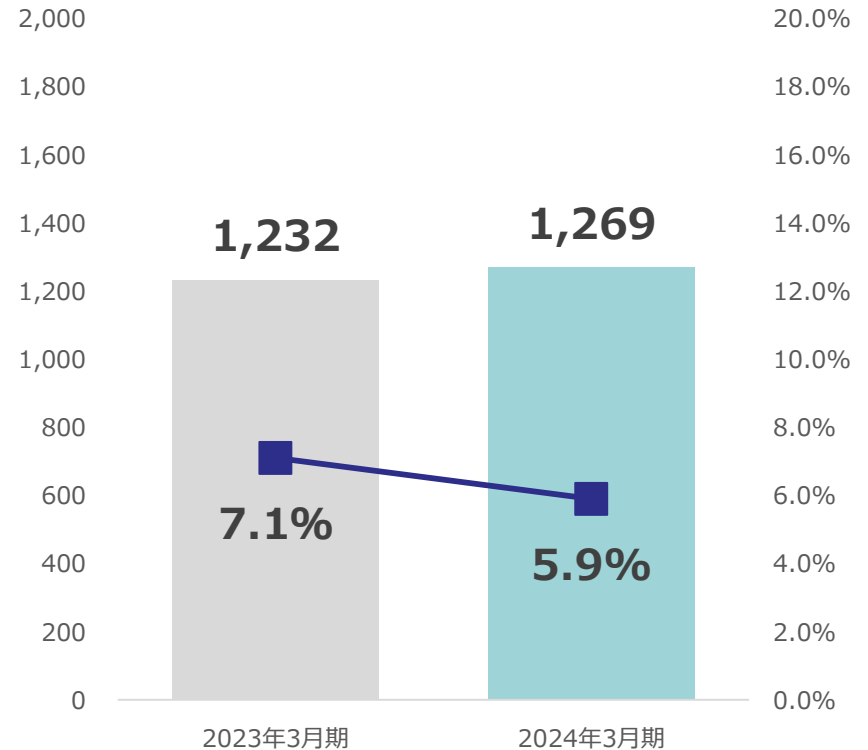
3. セグメント業績(J-MAX)

(百万円)

売上高



経常利益



【増減要因】

売上高

生産回復及び原材料価格上昇分の転嫁等により増収

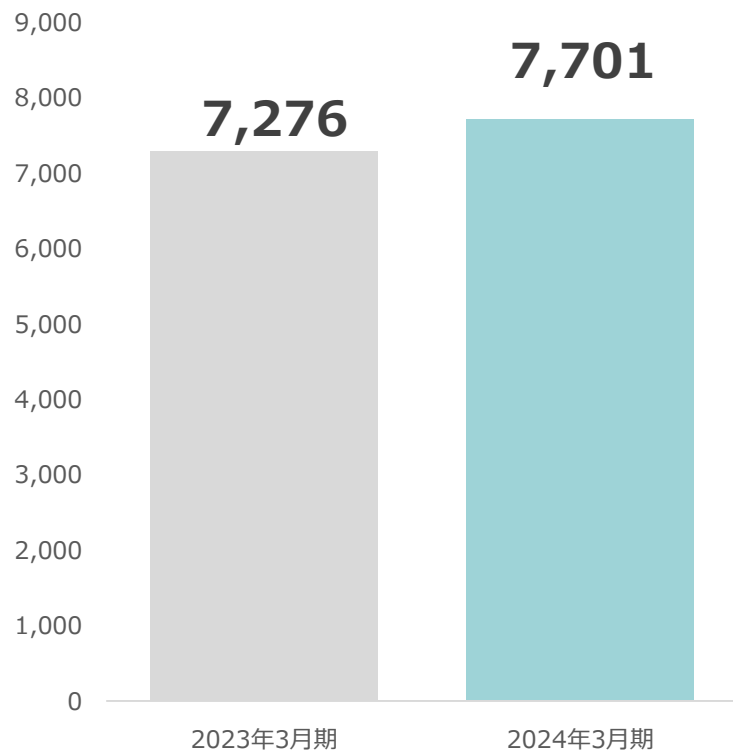
経常利益

生産性改善や経費削減等の原価低減活動をしたものの、生産車種構成変化及び売上拡大のための先行費用の増加等により、利益は前年同期と同水準

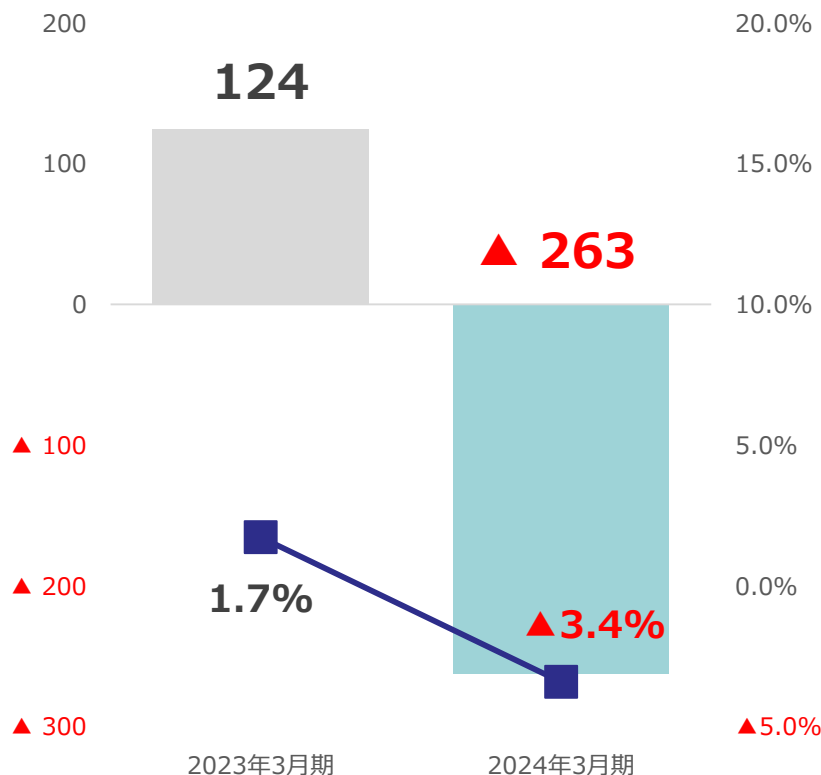
3. セグメント業績(タイ)

(百万円)

売上高



経常利益



【増減要因】

売上高

汎用エンジン部品は減少したものの、国内生産の増加及び為替影響により増収

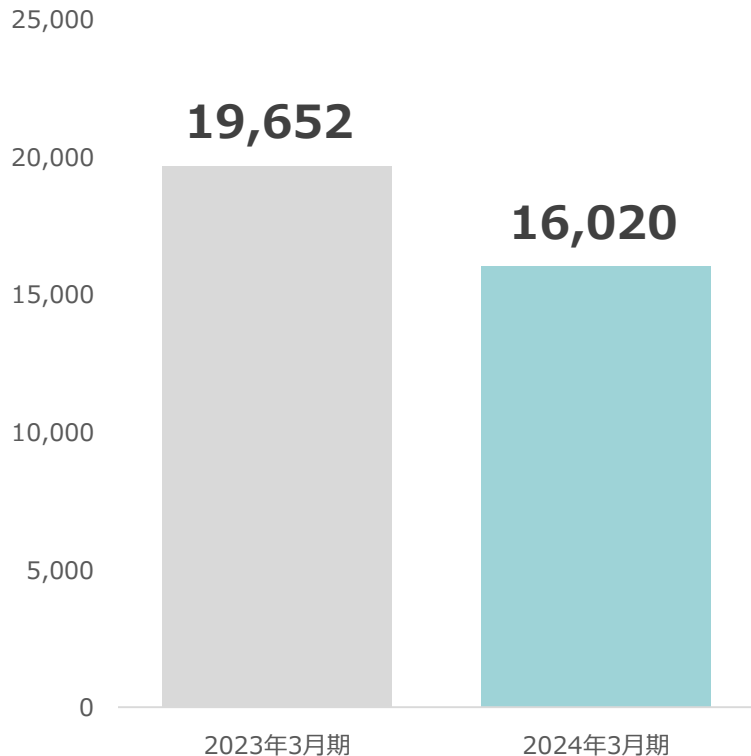
経常利益

要員適正化及び運送積載効率向上等の原価低減をしたものの、生産車種構成変化の影響により利益は減少

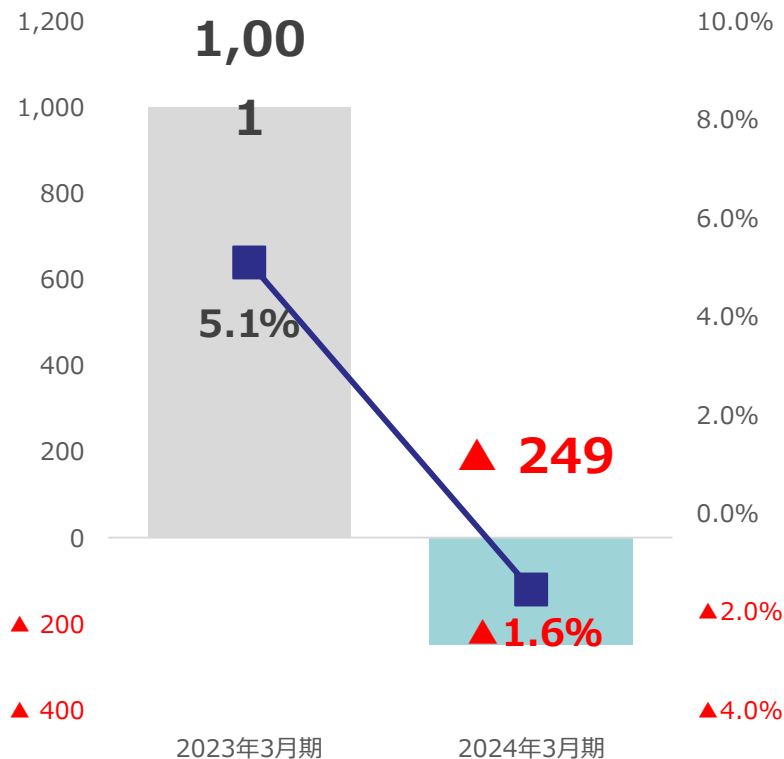
3. セグメント業績(広州)

(百万円)

売上高



経常利益



【増減要因】

売上高

主要客先の生産減少により減収

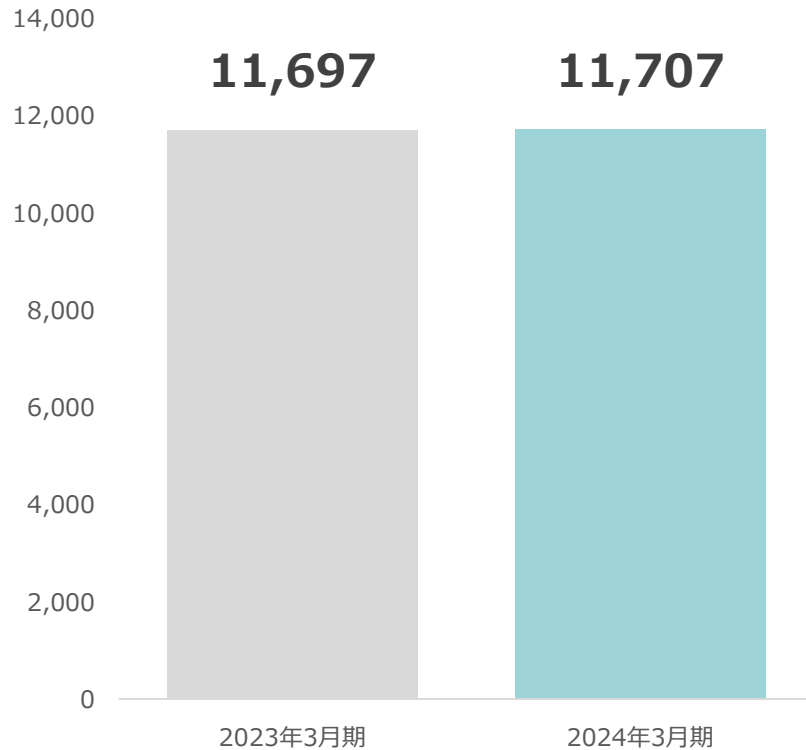
経常利益

生産設備の集約や要員再配置等労務費・経費の各種費用を削減をしたものの、生産減少による影響が大きく、減益

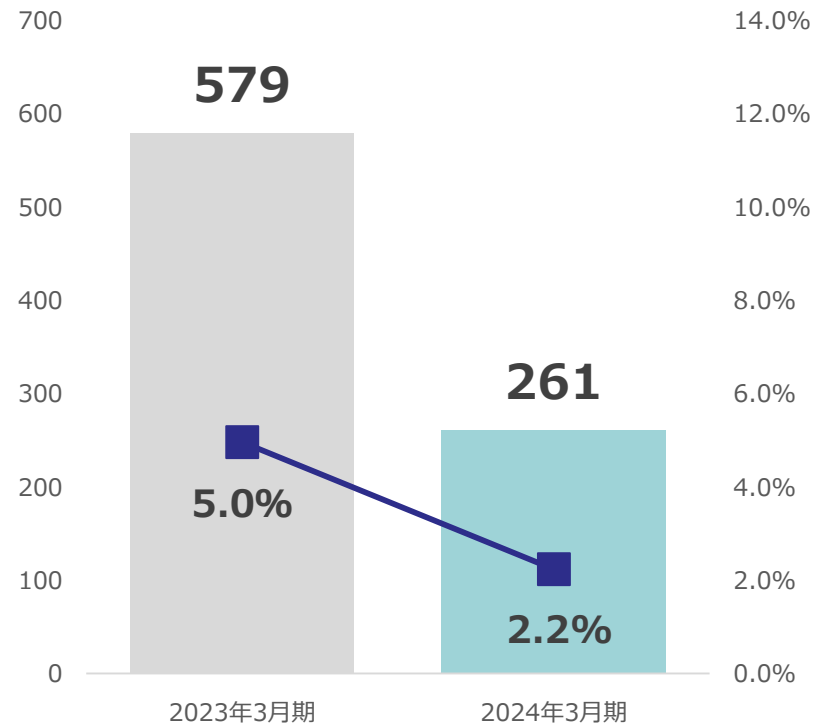
3. セグメント業績(武漢)

(百万円)

売上高



経常利益



【増減要因】

売上高

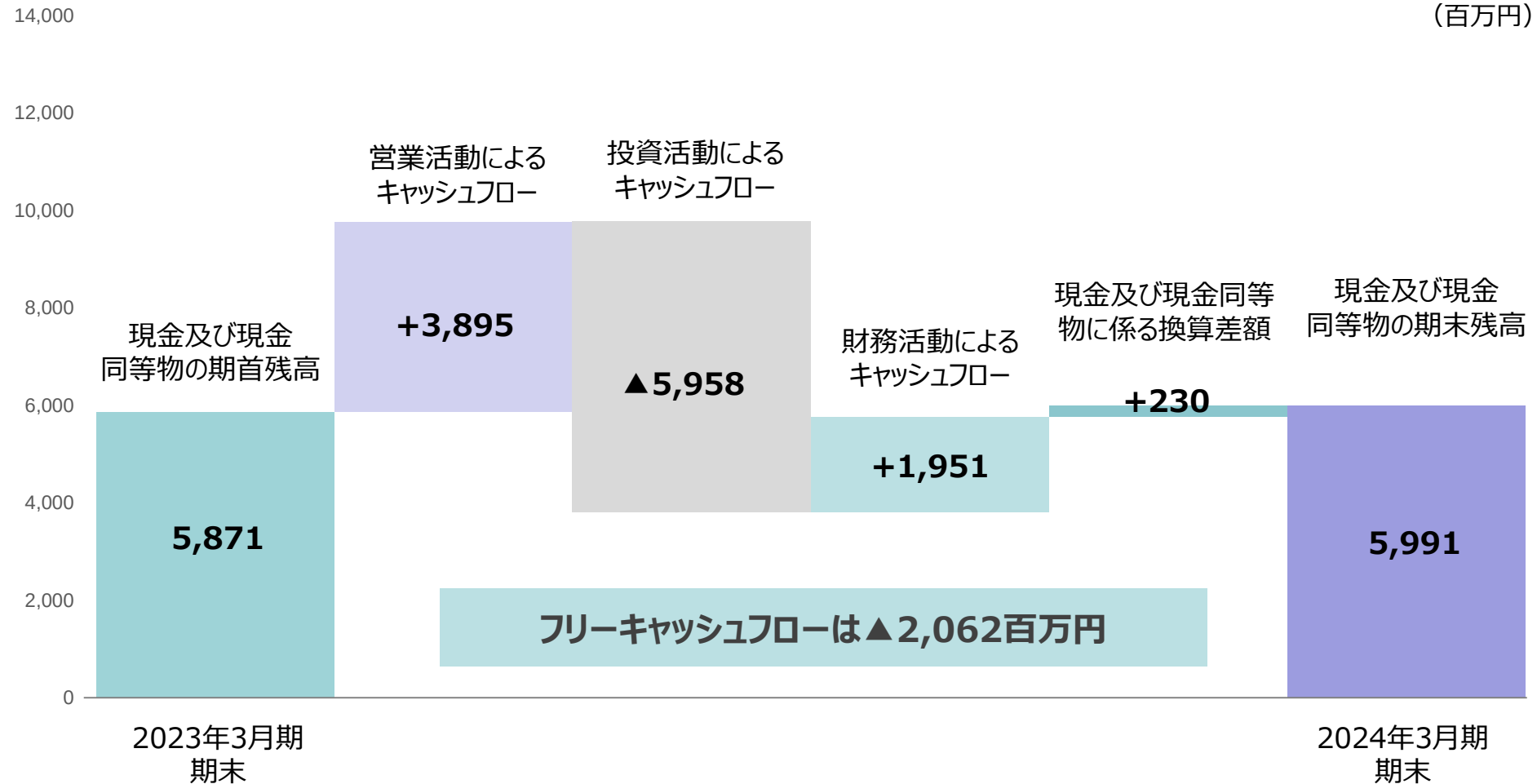
主要客先が減産したものの、為替影響により前年同期と同水準

経常利益

労務費・経費削減等の原価低減を推進したものの、減産に加え、新型車種用設備の償却費増加により減益

4. 連結キャッシュフローの状況

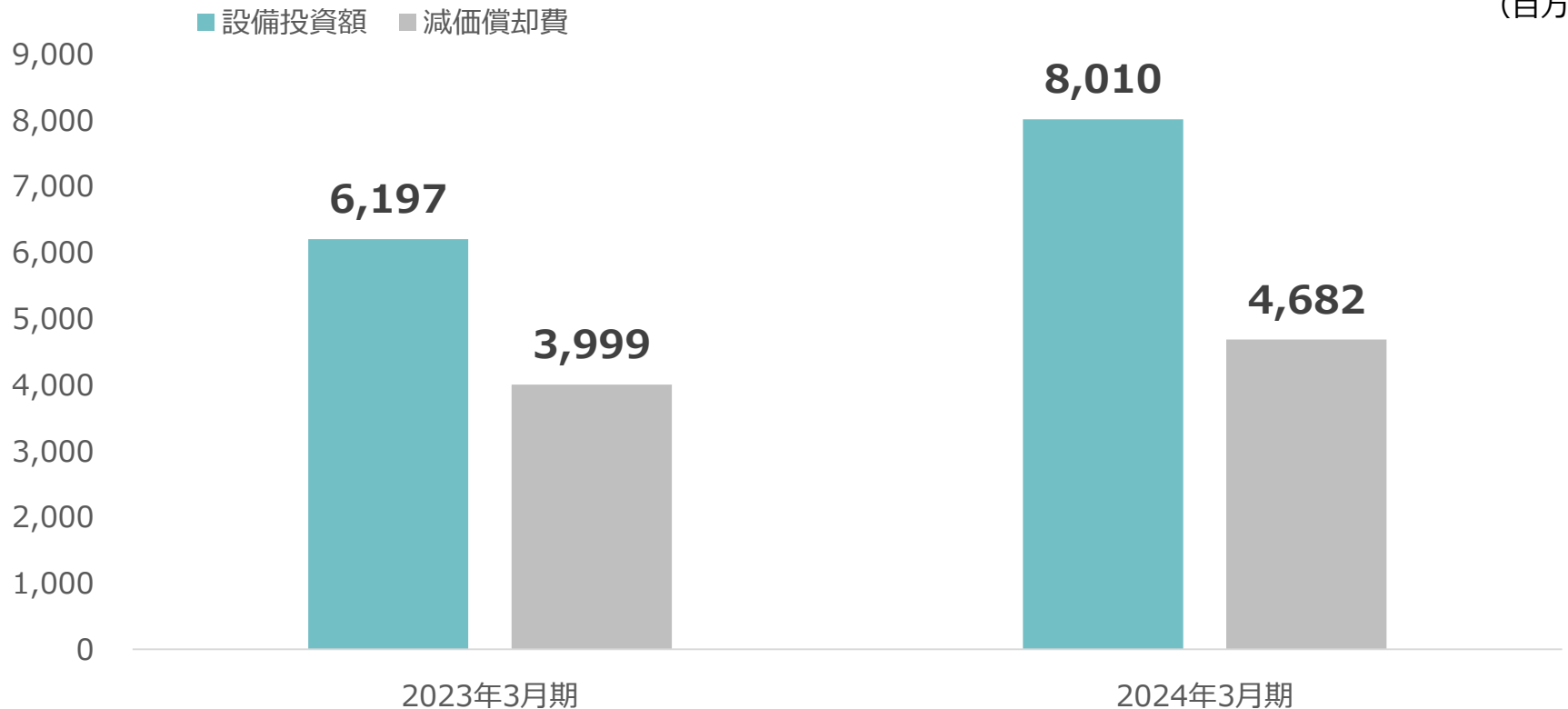
(百万円)



営業CF：企業体質強化を図るため実施した構造改革費用の特別損失計上等により期間損益減少
 投資CF：中国福建新工場建設等の将来の成長に向けた投資を実施

5. 設備投資額、減価償却費

(百万円)



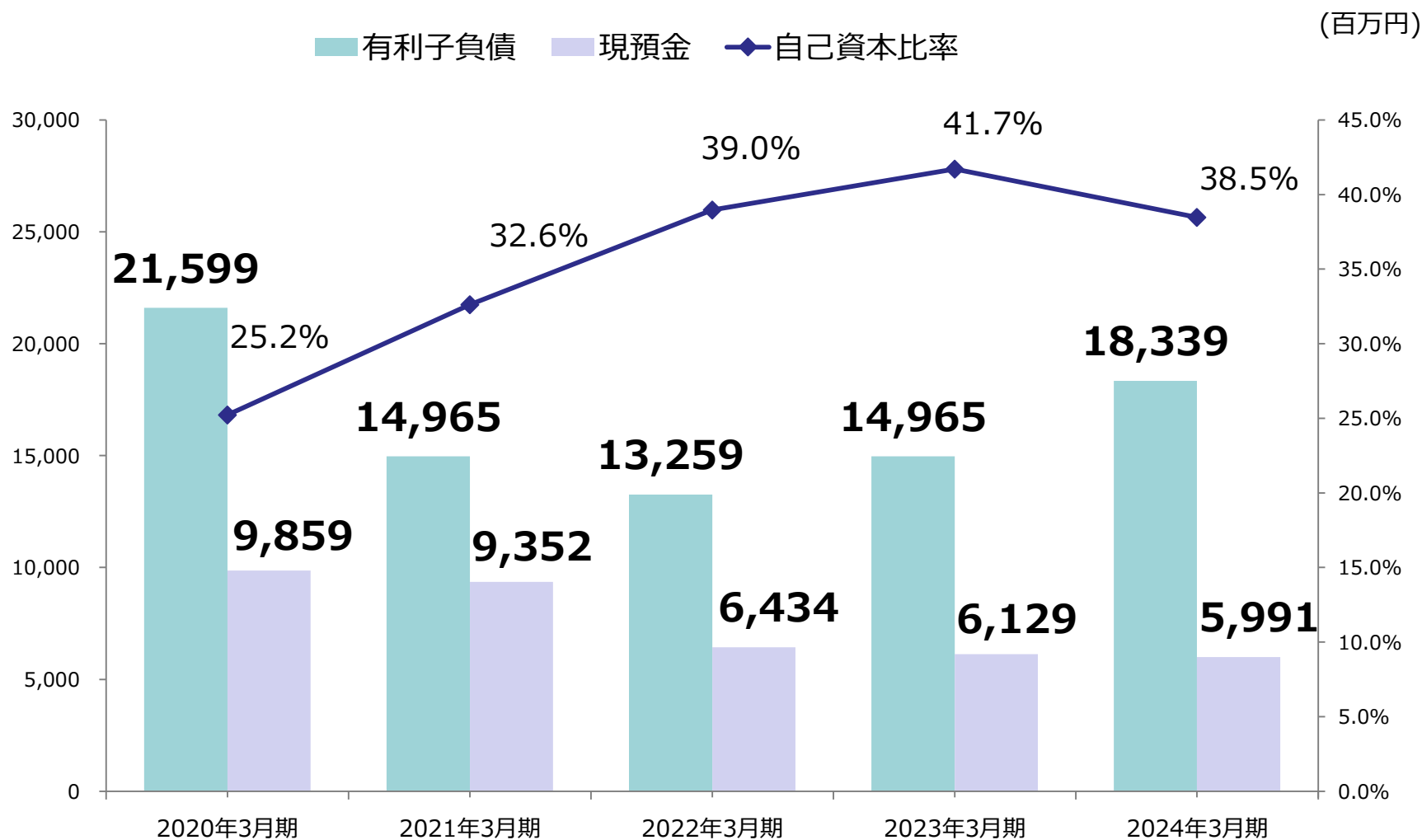
2024年3月期の主な投資

- ・岡山工場関連 (J-MAX) ※
- ・太陽光パネル (J-MAX)
- ・洗浄機更新 (タイ)
- ・HTライン (広州) ※
- ・メッキライン (広州) ※

- ・福建工場 (広州) ※
- ・ナットサブライン自動化 (武漢) ※
- ・新型車種金型 (J-MAX・タイ・広州・武漢)

注 ※設備投資額に含まれているものの、償却未開始の案件

6. 財務状況



成長投資を実施するものの投資の選別により有利子負債は計画範囲内に抑制。
自己資本比率は一定水準を維持。

7. 通期連結業績予想

アジアの自動車市場において、中国を中心に急速に電動化が加速しており、主要客先の減産が継続している状況を踏まえ、期末まで減産が継続すると想定し業績予想を算出

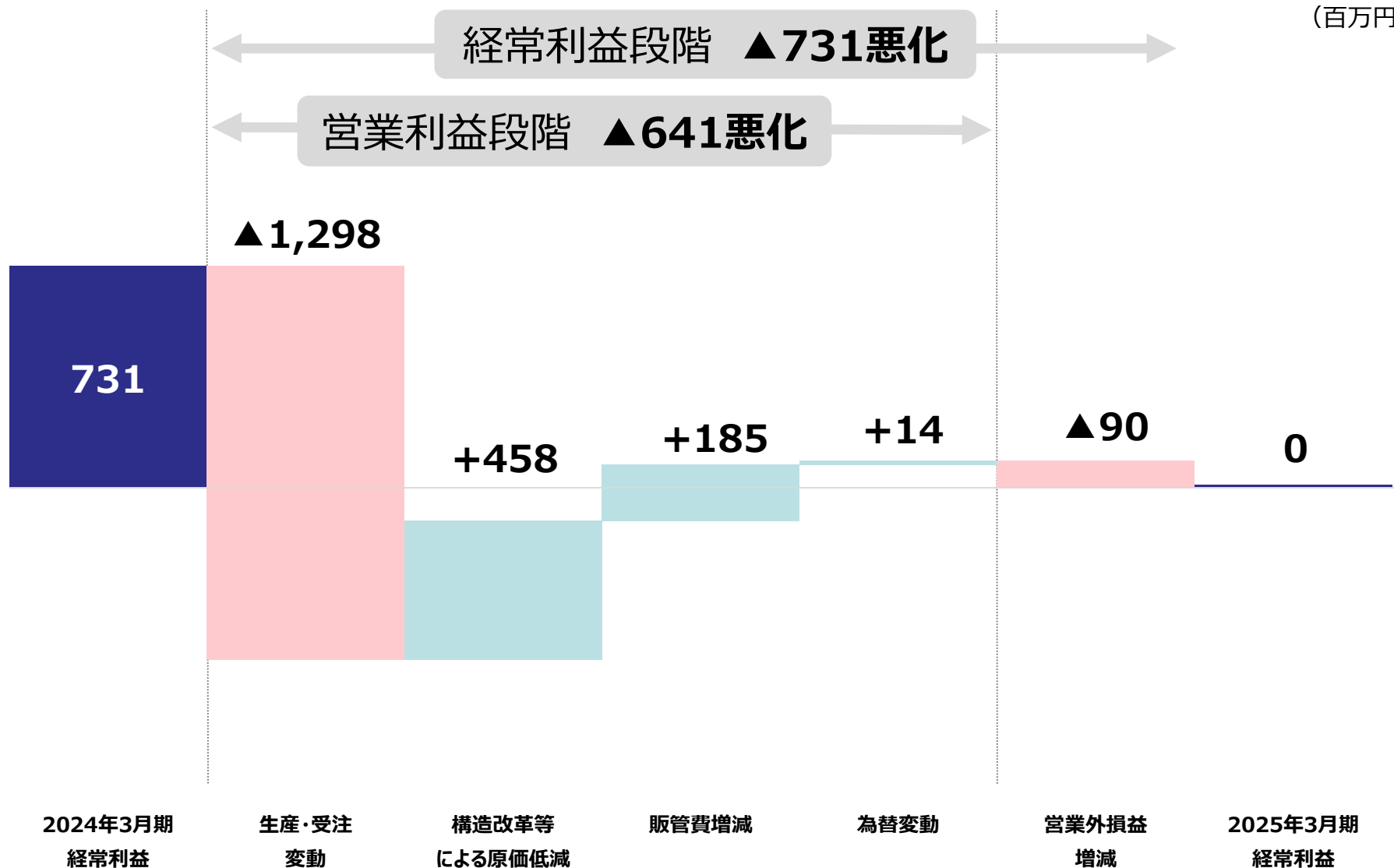
【単位：百万円】

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	54,347	47,000	△7,347	△13.5%
営業利益	1,041	400	△ 641	△61.6%
営業利益率(%)	(1.9%)	(0.9%)		
経常利益	731	0	△ 731	△100.0%
経常利益率(%)	(1.3%)	(0.0%)		
当期純利益	△1,026	△850	176	-
当期純利益率(%)	(-)	(-)		
一株利益(円)	△89.45	△74.26	15.19	-

	2025年3月期（円）
為替レート	タイバーツ：3.70、人民元：19.00

8. 増減要因(業績予想)

(百万円)



電動化需要の拡大に伴う主要客先の減産が影響するものの
グループでの構造改革実施により挽回を図る

技術で夢を

-Make our dreams by Technology-

▼ WEBSITE

HP ▶ <https://www.jp-jmax.co.jp>



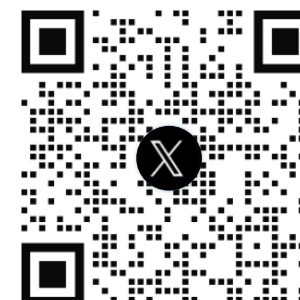
▼ OFFICIAL SNS

YouTube ▶ @J-MAX3422



▼ OFFICIAL SNS

X(旧Twitter) ▶ @J_MAX3422



この資料は、株式会社J-MAX（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、将来に関する記述については、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの内容とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。